

北海道ニセコ高等学校
(公立・緑地観光科)

DXによるシビックプライドを持ったグローバル人材の育成

取組

取組①

数理・データサイエンスを活用した
グローバルイノベーション探究や教科学習



【情報Ⅱ等】課題研究(2・3年次) 総合的な探究の時間(ニセコ国際高校1年次) 【教科】英語・数学、国際教養(ニセコ国際高校1年次)

- 海外大学等と連携したグローバルイノベーション探究に必要な英語力を「ELSA for Schools」で向上(国際教養)
- プロフェッショナルツール「Adobe Creative Cloud」を活用した動画作成等のクリエイティブな活動(情報Ⅱ等)
- iPhoneとiPadを活用した国内外でのフィールドワークにおける情報収集や情報発信(情報Ⅱ等)
- 京都大学開発の「LEAFシステム」で教育データを活用した個別最適な授業(英語・数学)
- 地域経済分析システムや観光予報プラットフォーム等のビックデータとデータ分析ツールの活用(情報Ⅱ等)



取組②

AIやDXに関する国内外でのフィールドワークや
交流によるグローバルイノベーション探究

- 台湾東呉大学東アジア地域発展研究センター主催の「2026年日本語教育シンポジウム～AI時代における教育と学習」へ参加
- 神戸大学、麗澤大学、京都市立日吉ヶ丘高校、麗澤中学・高校等とのDXで切り拓く「持続可能な社会づくり」に関するフィールドワークや国際的なイベント、探究交流
- 台湾台中科技大学や台中の小・中学校の教員や学生を迎えての日台の教育DXに関する探究交流



取組③

情報Ⅱの実施体制の確立と理数教育・プログラミング教育の充実



生徒の興味・関心を高めるデジタル課外活動の促進／外部専門人材の活用・関連機関等との連携

- 日本工学院北海道専門学校との連携による課題解決やプログラミングに関する授業(情報Ⅱ等、ニセコ国際高校の1年次情報Ⅰ)
- 大学や専門学校、事業者と連携した課外活動StarsUP(デジタルを活用した地域課題解決)
- 地域課題解決を解決するアプリ開発による「北海道起業家甲子園2026」への出場
- 遠隔教育による情報Ⅱの学校間連携による単位認定及び実施体制に関する連携校との協議、遠隔授業の試行実施
- 大学との連携による理系授業体験(北海道大学、千歳科学技術大学、麗澤大学等)
- 学識経験者等からなる運営指導委員会

2. 令和8年度DXハイスクール 具体的な取組①

取組①



数理・データサイエンスを活用した グローバルイノベーション探究や教科学習

- ・ニセコ国際高校の1年次教科「国際教養」の科目「English Presentation」において、AIスピーキングコーチ「ELSA for Schools」を活用し、海外の大学等と連携した探究に必要な英語によるプレゼンテーション力や会話力の向上を図る。
- ・情報Ⅱ等において、プロフェッショナルツール「Adobe Creative Cloud」を活用し、動画作成等のクリエイティブな活動を継続するとともにiPhoneとiPadを用いて国内外でのフィールドワークにおける情報収集や情報発信を行う。
- ・数学及び英語の授業において、AIによるラーニングアナリティクスツール「LEAFシステム」を活用した個別最適な学びを継続する。
- ・課題研究等の授業において、地域経済分析システムや観光予報プラットフォーム等のビックデータと、データ分析ツールを活用する。



実施するために活用する経費

- ELSA for Schools（ニセコ国際高校1年次71名）749,760円
- Adobe Creative Cloud（北海道ニセコ高校・ニセコ国際高校生徒全員）135,300円
- iPhone（フィールドワーク用2台）252,560円

高度な英語運用能力、表現力・発信力、自己調整型学習力、データ活用能力

2. 令和8年度DXハイスクール 具体的な取組③

取組②



AIやDXに関する国内外でのフィールドワークや 交流によるグローバルイノベーション探究

- 台湾の東呉大学が主催する「2026年日本語教育シンポジウム～AI時代における教育と学習」へ参加し、世界や日本におけるAI時代における学生・生徒への日本語教育や人材育成の課題、教育改革の方向性について探究する。
- 包括連携校である神戸大学大学院国際文化学研究科、麗澤大学、京都市立日吉ヶ丘高校、麗澤中学・高校等を訪問し、DXで切り拓く「持続可能な社会づくり」に関するフィールドワークをはじめ、国際的なデジタルマッピングイベント、高校生国際会議、探究交流を継続する。
- 包括連携校である台湾台中科技大学や台中の小・中学校の教員や学生を迎え、日台の教育DXに関する探究交流を実施する。



実施するために活用する経費

- 海外教員旅費（台湾シンポジウム発表及び生徒引率 計3名）690,000円
- 国内教員旅費（生徒引率 神戸1名、京都3名、千葉3名）940,000円
- 海外及び国内交流経費 300,000円

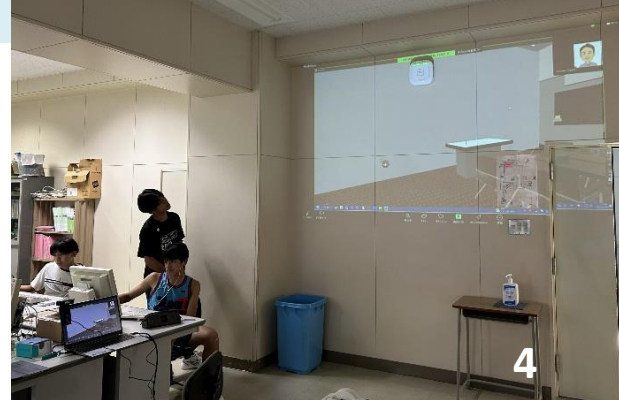
2. 令和8年度DXハイスクール 具体的な取組③

取組③



情報Ⅱの実施体制の確立と理数教育・プログラミング教育の充実

- ・日本工学院北海道専門学校と連携し、情報Ⅱ等やニセコ国際高校の情報Ⅰにおいて、DXによる地方創生に関する課題解決やプログラミングに関する実習等を実施する。
- ・大学や専門学校、地域事業者等と連携して、DXによって地域課題を解決する課外活動「StarsUP」を継続する。
- ・小樽商科大学や日本工学院北海道専門学校と連携して地域課題を解決するアプリ開発を行い、「北海道起業家甲子園2026」へ出場する。
- ・遠隔教育による情報Ⅱの学校間連携による単位認定及び実施体制に関して、連携校である京都市立日吉ヶ丘高校や麗澤中学・高等学校と協議を行うとともに、令和10年度の遠隔授業の実施に向けた試行・検証を行う。
- ・北海道大学、千歳科技大学、麗澤大学等と連携して大学の理系授業体験を行い、ニセコ国際高校1年次について2年次以降の「環境科学系列」への興味・関心を高め、理系大学進学に対する意欲を向上させる。
- ・学識経験者等からなる運営指導委員会を継続し、専門的な見地から指導・助言を受ける。



実施するために活用する経費

- StarsUP講師謝礼（12回予定）120,000円
- 運営指導委員謝礼（5名、交通費込）200,000円

起業家精神、プログラミング能力、課題発見・解決能力、理系大学への興味・関心

3. 令和8年度DXハイスクール 年間指導計画

年間指導計画



1年次、第2・3学年 年間の取組計画

時期	取組	補助金を活用して実施する内容	予想される成果
4月 5月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の活動の方針や取組の説明 ①台湾東呉大学主催のAI時代の「日本語教育シンポジウム」への参加 ②連携大学・高校とのDXで切り拓く「持続可能な社会づくり」に関するフィールドワークや探究交流 ③台中科技大学等の教員や学生を迎えての教育DXに関する探究交流 ④アプリ開発による「北海道起業家甲子園2026」への出場 ⑤大学との連携による理系授業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾への生徒引率とシンポジウム参加、現地交流 ・神戸、京都、千葉への生徒引率と現地交流 ・台中の教員や学生を迎えての交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外でのフィールドワークや探究交流において、多様な価値観を持つ人々と協働することによって、思考力、課題発見・解決能力、協働力、表現力、対話を通じた合意形成力が育成される。 ・デジタルを活用した課題解決に挑戦することで、起業家精神、課題発見・解決能力、プログラミング能力が育成される。 ・情報系をはじめとする理系大学への興味・関心や進学意欲が高まる。
年間	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次「English Presentation」における「ELSA for Schools」の活用及び2・3年生の情報Ⅱ等における「Adobe Creative Cloud」の活用 ・情報Ⅱ等におけるiPhoneとiPadを用いた情報収集や情報発信 ・数学・英語の授業における「LEAFシステム」の活用 ・情報Ⅱ等におけるビックデータとデータ分析ツールの活用 ・情報Ⅱ等や1年次情報ⅠにおけるDXによる課題解決やプログラミング実習 ・大学や事業者と連携したDXによる地域課題解決「課外活動StarsUP」 ・運営指導委員の委嘱と会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ELSA for Schoolsの導入 ・Adobe Creative Cloudの導入 ・iPhoneの導入 ・起業家教育講師の招聘 ・運営指導委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに課題解決を行うための高度な英語運用能力を身に付けるとともに、表現力や発信力が向上する。 ・学習データを活用して個別最適に学ぶことで、自己調整型学習力が向上する。 ・データ活用能力が向上する。 ・課題発見・解決能力やプログラミング能力が育成される。 ・地域に誇りや深い思い入れを持ち、より良い地域を創ろうとする「シビックプライド」を醸成。 ・取組の評価や改善を充実することができる。

3. 令和8年度DXハイスクール 年間指導計画

年間指導計画



教職員の年間の取組計画

時期	取組	補助金を活用して実施する内容
5月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾東呉大学主催のAI時代の「日本語教育シンポジウム」での発表及び参加生徒引率 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾への生徒引率とシンポジウム参加、現地交流
6月 ～1月	<ul style="list-style-type: none"> 神戸、京都、千葉での連携高との探究交流への生徒引率 	<ul style="list-style-type: none"> 神戸、京都、千葉への生徒引率と現地交流
9月 ～12月	<ul style="list-style-type: none"> 「DXハイスクール実践発表会」における、公開授業・発表 運営指導委員による教育活動の視察・助言 「コセコスタイルの教育」生成AI研修 運営指導委員を訪問しての取組や評価に関する指導・助言 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 台中科技大学等の教員や学生を迎えての教育DXに関する探究交流 運営指導委員会を開催しての成果や課題の報告と指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> 台中の教員や学生を迎えての交流 運営指導委員会の開催
年間	<ul style="list-style-type: none"> 1年次「English Presentation」における、AIスピーキングコーチ「ELSA for Schools」の活用に関する実践研究 数学・英語の授業におけるAIを活用したラーニングアナリティクスツール「LEAFシステム」を活用した個別最適な学びの研究 	<ul style="list-style-type: none"> ELSA for Schoolsの導入